

奥積雅彦（総務省統計研究研修所教官）

統計研究彙報

1 統計研究彙報とは？

「統計研究彙報」は、統計技術の調査研究の成果としての論文及び調査研究の記録、資料等の報告を彙めたものです。刊行は総務省統計研究研修所が行っています。

一口メモ

「彙」は、彙（けいがしら）に冫（わかむり）に果で構成され、「集める」という意味ですが、もともとはハリネズミを表す象形文字だったそうです。棘（とげ）が集まっているハリネズミから「彙」が誕生したのかもしれない。

2 統計研究彙報の前身となる統計局研究彙報の創刊の趣旨

統計研究彙報の昭和25年（1950年）に「統計局研究彙報」として創刊され、平成15年（2003年）から「統計研究彙報」に改題されましたが、号数は「統計局研究彙報」からの通し番号となっています。

「統計局研究彙報」の創刊号における「創刊のことば」（森田雄三統計局長）をここに紹介します。統計の中立性と人材育成について強調されており、印象的です。

●統計局研究彙報の創刊号における創刊のことば（抜粋）

統計局では戦前、毎月『統計時報』を刊行して新しい統計資料を集録する傍ら、局員の調査研究に一部を発表してきたが、戦争以来中絶されていた。戦後、統計局の機構改組に際し、…新たに研究部…を設け、専ら統計調査に関する技術的研究を目的として業務の内容を純化するよう努めるとともに、その成果の発表を念願してきたのであったが、…今日まで実現をみるに至らなかった。本研究彙報はその内容において未だ極めて意にみえないものであるが、右の目的への一歩接近を意図したものである。（中略）

【参考】中略した部分の要点

- ・統計局（中央統計機関）に統計技術の調査研究を行う組織と専属のスタッフを置き、重点的能率的な調査研究を行い、量より質において優れた構成をとらなければならないこと
- ・有能な研究者を一般行政官庁に招致することは困難であること
- ・統計を専攻する研究者がその数において不足していること
- ・統計局としても、長期計画でじっくり腰をすえて自ら所要の研究担当者を養成していかなければならないのであって、この研究彙報もある意味で研究者の手習草紙となることもやむを得ない

ただ私は統計局…が担当すべき研究業務の範囲を明確に限定しておきたいと思う。中央統計局の研究業務は

あくまでも統計の調査技術が主要対象であって、その仕事は結果の一般的な分析編集までには及んでも、それ以上に亘るべきではない。いいかえれば…個々の具体的目的をもってする結果分析は、それらの行政目的をもってそれぞれの官庁、あるいは一般統計利用者のなすべき仕事である。…統計局が自ら提供した統計資料であっても、それについて多方面に亘る政策目的を予定しなければならぬ結果分析に立入ることは、邪道であるばかりでなく、不可能事でもある。自らの職責の限界を明らかにしてもって固く自他の戒めとしたい。

一言をもって創刊のことばにかえる次第である。

3 統計研究彙報の源流となる統計時報の創刊の趣旨

戦前は「統計時報」が刊行（大正10年（1921年）に創刊され、昭和15年（1940年）の第98号まで刊行）されており、現在の「統計研究彙報」の源流に相当します。

「統計時報」の創刊号における小川平吉国勢院総裁の発行の辞の一部をここに紹介します。

【余談】

小川平吉は、第78代内閣総理大臣の宮澤喜一氏の祖父です。また、連続テレビ小説「おちよらん」でヒロインの継母・栗子役を演じた宮澤エマさんの高祖父だそうです。

●統計時報（創刊号）における発行の辞（抜粋）

…抑^{そもそも}統計の中央機関としては是等統計書の編成刊行のみを以て足れりと云うべからずして統計の学問技術に関する所説、統計の学術的研究の結果、海外各国統計界の事情等にして性質上統計の原表に収むへからざるもの多々之あり、又^{縦令}たとえ原表の性質を有するものと雖^{いえども}速に公表を要するか如き場合は之を定期的刊行物に待つこと能はずして別に其の途を講ぜざるべからず、斯を以て従前に在りては是等の必要の生ずるに及び臨時の刊行物を以てし姑^{しばらく}其の闕^欠を補ひたり、「然るに近時統計の事情漸く振興し内外統計界多事の秋に当り、従前の如き状況を以てしては克く其の機能を発揚すること能はざるの憾あるにより、本年度より統計時報発刊の計画を樹^{たて}て茲^{ここ}に其の初号を創刊するに至りたるは本邦統計界の為一歩を進めたる感あり、希^{こいねがわく}は本書所載事項の活用、統計の改善等に資益する所あらは幸甚なり。

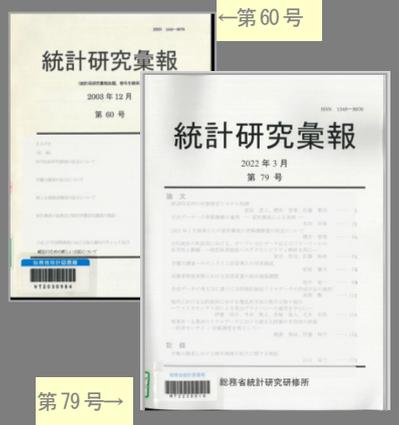
【注】筆者が、極力、旧字体はできるだけ新字体にし、ルビ等を付したものの。

4 統計研究彙報が果たす役割

「統計研究彙報」は、今後とも、中央統計機関として各府省共通の統計技術に関する研究の成果物について情報発信する役割を担っており、それは統計の発達改善につながることを改めて認識しました。

ちなみに「統計研究彙報」やその源流となる資料の所在源情報は、別記のとおりです。

【別記】「統計時報」、「統計局研究彙報」、「統計研究彙報」の利用案内

区分	閲覧方法	【画像】総務省統計図書館所蔵
「統計時報」		
大正 10 年 ^(1921 年) 11 月 (初号) ~ 昭和 15 年 ^(1940 年) 6 月 (第 98 号)	国立国会図書館デジタルコレクション ^(欠号あり) https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1615759 ※国立国会図書館内限定で閲覧可能 (欠号) 第 2 号	
	総務省統計図書館で閲覧可能 (原本 (合本))	
【参考】 ・「統計時報」の所在源情報 (Google ブックスで閲覧可能なもの) は、 【付録】 参照 ・「統計時報」の掲載論文等の一覧は、「統計局・統計センター120 年史」で閲覧可能		
「統計局研究彙報」		
昭和 25 年 ^(1950 年) 3 月 (初号) ~ 平成 8 年 ^(1996 年) 5 月 (第 54 号)	国立国会図書館デジタルコレクション https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/2896036 ※国立国会図書館/図書館・個人送信限定で閲覧可能 総務省統計図書館で閲覧可能	
平成 9 年 ^(1997 年) 3 月 (第 55 号) ~ 平成 13 年 ^(2001 年) 11 月 (第 59 号)	総務省統計図書館で閲覧可能	
「統計研究彙報」 (統計局研究彙報を改題)		
平成 15 年 ^(2003 年) 12 月 (第 60 号) ~ 平成 17 年 ^(2005 年) 8 月 (第 63 号)	総務省統計図書館で閲覧可能	
平成 19 年 ^(2007 年) 3 月 (第 64 号) ~ 平成 28 年 ^(2016 年) 3 月 (第 73 号)	国立国会図書館デジタルコレクション (表紙なし) https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/10160031 ※国立国会図書館/図書館・個人送信限定で閲覧可能	
平成 19 年 ^(2007 年) 3 月 (第 64 号) ~ 最新号	総務省統計 HP で閲覧可能 (表紙なし) https://www.stat.go.jp/training/2kenkyu/2-2-new.html 総務省統計図書館で閲覧可能	
※「統計局研究彙報」、「統計研究彙報」の掲載論文等の一覧は、総務省統計局 HP で閲覧可能 https://www.stat.go.jp/training/2kenkyu/2-2-new.html		

【雑感】

島村史郎元統計局長は、その著書「日本統計史群像」第 22 章「森田優三と統計制度」において、森田先生の訓戒を紹介しています。その訓戒をここに紹介します。前掲の統計局研究彙報の創刊のことばを想起します。

統計局職員は統計データを分析しても、それによって政策を批判したり、また政策を提言してはならない

(森田 優三)

職場研修において、島村元統計局長から次の訓戒をいただいた記憶があります。この訓戒は、前掲の「森田優三と統計制度」においても言及されています。ただ、同書で「これが果たして森田先生の意向に沿ったものかどうかは明らかでない。」としています。

統計局の統計分析は統計の本来の目的に沿って、国民の声なき声を表現すべきである

(島村 史郎)

これらのメッセージは、相反するようにもみえますが、その解釈は、人によって区々かもしれません。筆者は、中立公正で正確な統計分析を行い、事実関係を明らかにすることで両立しようと理解しています。さらに、ユーザーに対しては、統計の品質表示などの情報提供が必須です。そして、それは国家の統治の基本となる統計のあるべき姿であると確信しています (脳内に低性能な CPU を保有する筆者の個人的感想です。)。 「統計研究彙報」の「彙」は、棘 (とげ) に由来し、…奥が深いです。

【付録】統計時報の所在源情報（Googleブックスで閲覧可能なもの）

	サイト	アドレス	備考
統計時報01-04	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/zQGxZg0yIIIC?gbpv=1	NDL：第2号は欠号
統計時報05-06	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/VFrzvahK2TwC?gbpv=1	
統計時報07-09	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/YPIWtQ_5FB8C?gbpv=1	
統計時報10-13	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/IQ05GjKDobsC?gbpv=1	
統計時報14-17	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/gkKXc-KGVewC?gbpv=1	
統計時報18-21	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/QGEbjOOmWpYC?gbpv=1	
統計時報22-25	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/z7nlx3A8D4IC?gbpv=1	
統計時報26-29	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/fM7yuwgISKYC?gbpv=1	
統計時報30-33	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/K2d8OFy4ibUC?gbpv=1	
統計時報34-37	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/8RBPMNkzow4C?gbpv=1	
統計時報38-41	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/Tu24HMsLWTcC?gbpv=1	
統計時報42-45	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/BOws3Ng50d8C?gbpv=1	
統計時報46-49	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/sj5BQO6HKZ4C?gbpv=1	
統計時報50-53	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/uJsMBv87TnMC?gbpv=1	
統計時報54-63	NDL	https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1615759	Googleブックス 欠号
統計時報64-75 降順	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/XUa-G132TwIC?gbpv=1	
統計時報76-87 降順	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/1FMHyAD_-ZkC?gbpv=1	
統計時報88-96 降順	Googleブックス	https://www.google.com/books/edition/_/HMN3dkBgV2IC?gbpv=1	
統計時報97-98	NDL	https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1615759	Googleブックス 欠号

【注】NDL：国立国会図書館デジタルコレクション（※国立国会図書館内限定で閲覧可能）

（全号まとめサイト→年次・号を選択） <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1615759>

- ・統計時報54-63 年次：1936から号を選択
- ・統計時報97-98 年次：1940から号を選択